

埋蔵文化財発掘ミュージアム

中世の町を
発掘しました！

東区箱崎 箱崎遺跡



蔵と思われる建物跡

はこざきぐう
箱崎宮近くで、平安～鎌倉時代（約
800～1000年前）の蔵の跡や数多くの井
戸などを発掘しました。遺跡からは、多量の中
国製の陶磁器や青銅製の小さな仏像、銅銭
約100枚などが出土しました。当時の人々の信
仰や、盛んな貿易活動がうかがえます。



弥生時代の井戸を 発掘しました！

博多区山王 山王遺跡

弥生時代の井戸

さんのつ
山王公園近くで、弥生時代(約2000年前)
のムラの跡を発掘しました。ムラからは、食
糧を保存する穴や、井戸が見つかりまし
た。地面に井戸を掘って水を得ることを
始めるのは、弥生時代からです。この
時代の井戸の発見数は、全国的
にみても福岡平野が圧倒的に
多く、先進的な地域で
あったことが裏付けら
れます。

※いずれの発掘調査も終了し、
すでに埋め戻されています。

4・5月のイベント情報

4月

- 15日 志賀海神社 山ほめ祭（県指定無形民俗文化財）
- 17日 香椎宮奉納獅子楽（県指定無形民俗文化財）

5月

- 3・4日 博多松ばやし（県指定無形民俗文化財）
- 17日 埋蔵文化財センター企画展示（～8月20日まで）
「ひとのかたちと、ころをうつすー絵画と造形の考古学ー」
- 21日 埋蔵文化財センター考古学講座 第1回
「造形と絵画の起源」 講師：春成秀爾氏

博多松ばやし

さんふくじん ちごまい

三福神と稚児舞が福博の各所を訪

問してお祝いする行事です。松ばやし
は室町時代に京都周辺で流行した



年賀行事です。博多では江戸時代に

町人たちが三福神に仮装して福岡城で新年のお祝いをし、稚児
舞を藩主の前で披露する行事になりました。現在は、5月3・4

日の博多どんたく港まつりにあわせて、福博の各所をめぐる。

伝統ある行事と、新しい祭りの融合を楽しんでみませんか。

福岡市

経済観光文化局文化財部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1

TEL：092-711-4666 FAX：092-733-5537

文化財の保存・管理・整備・活用に関すること

文化財保護課

TEL:092-711-4666

福岡城跡と鴻臚館跡に関すること

大規模史跡整備推進課

TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課

TEL:092-711-4667

埋蔵文化財センターに関すること

埋蔵文化財センター

TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>



歴史
の風

ふくおか
文化財だより

Vol.1 創刊号

2016年4月号

ふくおかじょうこうろかん

福岡城・鴻臚館 春のみどころ

鴻臚館広場グランドオープン！

今年の福岡城さくらまつりにあわせて、鴻臚館広場が全
面公開されました。

これまで広場の南側を公開していましたが、今回、北側
の芝張りが完了し、全体を見学できるようになりました。
広場にはゴムチップで遺構を表現していますので、ご自身
の足で歩いて鴻臚館の大きさを体感することができます。

春のお出かけはぜひ鴻臚館広場にお越しくだ
さい。さらに知りたい方はホームページまで！



<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/news/detail/103>



→ここにも遺跡！！

地形を生かした攻防戦 一三日月山城跡一

みかづきやまじょうあと
三日月山城跡は、福岡市東
区香椎と久山町山田にまたが
る三日月山に築かれた山城跡
です。すぐ北側には、戦国時代
の猛将として知られる戸次鑑連
(道雪)・立花統虎(宗茂)親子の居城として有名な九州
最大級の山城である立花城跡があり、その立花城を攻める
拠点として築かれたと考えられています。



三日月山山頂から

立花山から三日月山にかけては、標高もそれほど高くない
ため、気軽に登れるハイキングコースとしても人気です。
気候の良い季節に、曲輪や石塁、堀切など、地形を生か
した攻防戦の跡を探しながらハイキングしてみませんか。



しかさんの用語解説コーナー

- 曲輪：土塁や堀などで囲まれた城の一区画
- 石塁：石を積み上げて作った防御用の施設
- 堀切：曲輪の区画や分断のために尾根などを開削する防御手段



→埋蔵文化財センターだより

まいぞうぶんかざい 埋蔵文化財センターってどんなところ？

福岡市内の発掘調査で出
土した遺物や記録類を保
管・活用するため、昭和57
(1982)年に開館しました。
博多区井相田の板付中学
校の隣にあります。



埋蔵文化財センター外観



収蔵庫

収蔵庫には土器・石器など
120万点以上を保管し、いつ
でも利用できるように管理して
います。これらは市民・研究者
の閲覧や、他の博物館への貸
し出しなどに活用されています。また、市内の小学校への
出前授業や、市民向けの考古学講座も開催しています。
そのほかに、発掘調査で出土した木製品や金属製品の
保存処理作業もおこなっています。

展示室や図書室、バック
ヤードの見学もできますので
お気軽にお越しください。



展示室



詳しくは福岡市埋蔵文化財センターの
ホームページをご覧ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>



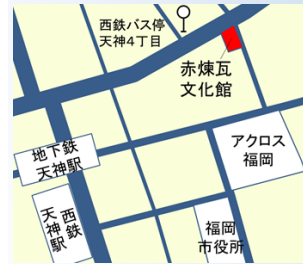
→アプリを使って見に行こう！

設計者はあの東京駅と同じ！ 一福岡市赤煉瓦文化館一

天神の街中にたたずむ赤煉瓦の
洋館。東京駅などの設計で知ら
れる建築家、辰野金吾らの設計
により、明治42(1909)年に日本
生命保険株式会社の社屋として建てられました。



小規模ながら尖塔やドームを持つなど変化にとんだ建築物
で、赤煉瓦と白の石材の組み合わせは19世紀末にイギリス
で流行した様式でもあります。昭和44(1969)年に福岡市
に譲渡され、歴史資料館として利用されました。現在は、屋
根を天然スレートに替えるなどの保存修理を行い、建築当
初の姿をみることができます。1
階は「福岡市文学館」、2階は
貸会議室ですが、見学は自由で
す。いまだ残る明治時代の窓ガラ
スごしに街を眺めてみませんか。



<文化財基本データ>

文化財指定	国指定重要文化財(建造物)
所在地	福岡市中央区天神1丁目15-30
指定年月日	昭和44(1969)年3月12日
竣工	明治42(1909)年2月末日
アクセス	地下鉄天神駅12番出口から徒歩5分、西鉄バス「天神4丁目」下車すぐ
見学時間	午前9時～午後9時(月曜日及び12/28～1/4休館、祝日の場合は翌日)
入場料	無料(会議室使用は有料)



この文化財は、スマートフォンアプリ【福岡歴史なび】の
散策ルート「6. 近代遺産」
に掲載されています。周辺の
文化財情報も満載です。まずは
アプリをダウンロード！



ダウンロードはこちら